

宮澤賢治と谷川俊太郎の世界

草笛光子さんと一緒に、昨年秋から吉松隆作曲《KENJI—宮澤賢治によせる》の公演を全国各地で続けている。東京と南相馬の公演は既に終わり、6月には札幌、仙台、大阪、秋には松江と福岡へと続く。宮澤賢治の「宛名のない手紙」を携え「オホーツク挽歌」「星めぐりの歌」、そして「銀河鉄道の夜」へと宏大な旅をしていく我々は一体どこへたどり着くのだろう。遠く宇宙の涯かもしれないし、着地するのは以外と自分の心なのかもしれない。

我々のもうひとつの演目《白髪恋の物語》ではエストニアの作曲家シサスクの「エイヴェレの惑星」の宏大な天空の世界に、萌えだし、瑞々しくもエロティックであり、ついには枯れはてていく命の軌跡が映し出される。それを星たちは己の軌道を廻りながら黙って観ている。谷川俊太郎の詩集『女に』よりの抜粋。

幾つになっても若々しく美しい草笛さんを鯨に例えたらお叱りを受けるかもしれないが、ミュージカルや映画演劇などの大きな世界をくぐり抜けてきた草笛さんは、大海原を悠々と泳ぐ鯨のように、自然でおおらかでまっすぐである。一緒に演奏をしていると、自分自身も鯨のような気持ちになるので、我々の演奏は二頭の鯨が数知れぬ波頭を乗り越え、深海に潜るようなものかもしれない。

ピアノ・ソロの二作。末吉保雄の《土の歌・風の声》は現代日本のピアノ曲の傑作。バッハ／ブラームスのシャコンヌと合わせてお聴きいただきたい。

館野 泉

館野 泉 プロフィール (ピアノ)

1936年東京生まれ。60年東京藝術大学首席卒業。64年よりヘルシンキ在住。68年メシアン・コンクール第2位。世界各国で行った演奏会は3500回を超え、世界中の聴衆から熱い支持を得る。02年脳出血により右半身不随となるが、04年「左手のピアニスト」として復帰。シベリウス・メダル(06年)、旭日小綬章受章(08年)、東燃ゼネラル音楽賞本賞(12年)ほか受賞歴多数。06年左手作品の充実を図るために「館野 泉 左手の文庫(募金)」を設立。以降、積極的に委嘱作品を発表し続けている。12年以降はベルリンやデュッセルドルフほかドイツ各地、パリ、トゥールーズ、ウィーン、ブダペスト、チェコやフィンランド、エストニア、モンゴルなどの各地でも公演を行っている。左手ピアノ音楽の集大成「館野 泉フェスティバル〜左手の音楽祭2012-2013」では独奏曲から室内楽作品の数々を全16回の演奏会で紹介し、自身に奉げられた3つのピアノ協奏曲で完結。14年ベルリン・フィルハーモニー・カンマザール、15年パリでのリサイタルは全聴衆総立ちのスタンディング・オーベーションで讃えられた。著書『ひまわりの海』(求龍堂刊)『ソリストの思考術/館野 泉の生きる力』(六耀社刊)『命の響』(集英社刊)ほか。最新CD「サムライ」(エイベックス・クラシックス)は『レコード芸術誌』の特選盤に選ばれる。

南相馬市民文化会館(福島県)名誉館長、日本シベリウス協会最高顧問、日本セヴラック協会顧問、サン・フェリクス=ロウラゲ(ラングドック)名誉市民。

館野 泉公式HP <http://www.izumi-tateno.com>

草笛光子 プロフィール

神奈川県横浜市生まれ。

1950年、松竹舞踊音楽学校を経て、松竹歌劇団入団。53年、松竹から映画デビュー。59年日本テレビ「光子の窓」で人気を得、その後着実に実力派女優として様々な舞台で充実した活動を広げる。テレビ、映画、舞台ともに代表作は多く、99年紫綬褒章、05年旭日小綬章を受章。1人芝居「私はシャーリー・ヴァレンタイン」などで、芸術祭賞を3度受賞。また、「和宮様御留」「女たちの忠臣蔵」で、菊田一夫演劇賞、「エイミズ・ヴュー」「ウィット」で読売演劇賞優秀女優賞、98年にNHK放送文化賞を受賞している。主な作品として、舞台では「火刑台上のジャンヌダーク」「ラ・マンチャの男」「シカゴ」「ハムレット」「光の彼方に」、映画では「老親」「雪に願うこと」、テレビでは「八代将軍吉宗」「あぐり」「葵・徳川三代」「利家とまつ」「菊次郎とさき」「熟年離婚」「どんと晴れ」「まれ」等がある。今年のNHK大河ドラマ「真田丸」には、信繁の祖母役(とり)として出演している。著書に自分史『いつも私で生きていく』(ベストセラーズ刊)ほか。

クラウドファンディング 「館野 泉80歳へのプロジェクト 第2章」へ皆さまのご支援をお願い申し上げます。

ピアニスト館野 泉は、脳出血の病から見事に立ち上がり、
「左手のピアニスト」として新しい演奏法を編み出し、
美しく豊かな音楽をもって多くの聴衆に感動を届け続けています。
80歳を迎える今年、6月に驚くべき“3つのピアノ協奏曲初演!”
そして、11月の誕生日は“4つのピアノ協奏曲”で命の響きを奏でます。
「すべては80歳に向けて収斂されてゆく」と語る館野 泉がこだわりぬく音楽世界を、
日々の取り組みから演奏の瞬間まで、お伝えいたします。
是非、皆さまのご支援をお願い申し上げます。

詳細はジャパン・アーツのホームページをご覧ください。 www.japanarts.co.jp

〈次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ。〉

- ① やむを得ない事情により、共演者、曲目等が変更になる場合がございます。
公演中止の場合を除き、お求め頂きましたチケットのキャンセル・変更等はできません。
- ② いかなる場合も再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。
- ③ 演奏中は入場できません。
- ④ 未就学児の同伴はご遠慮下さい。なお、就学児以上の方もご入場には1人1枚チケットが必要です。
- ⑤ 全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。(札幌公演を除く)
- ⑥ 場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。
- ⑦ ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。